

若手地域連携PTによる地域貢献に向けた取組

東海財務局では、平成28年に中堅・若手職員が地域貢献を目指し、プロジェクトチーム「スプラウト」を結成。今年度は11名のメンバーで、地方公共団体と連携した取組や温泉街の魅力度向上に向けた取組など、地域貢献に向けた活動を実施。

概要

「江南市政策提案プロジェクトチーム」への参加

- ・愛知県江南市がまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる政策を推進するため、若手職員で結成された「江南市政策提案プロジェクトチーム」から依頼をいただき、スプラウトのメンバー2名がオブザーバーとして参加。
- ・平成29年5月から12月にかけて検討会議を実施。市の強み・弱み分析を行い課題等を洗い出し、最終的には子育て世帯の移住支援事業として空き家活用について政策提案書を取りまとめ、市長等に報告を行った。



検討会議の様相

湯谷温泉の魅力度向上に向けた取組

- ・愛知県新城市にある湯谷温泉の魅力度向上を目指し、新城市及び湯谷温泉発展会会長にヒアリングを実施。
- ・温泉旅館の顧客ニーズを把握するため、全職員に対し温泉旅行に関するアンケートを実施。若手職員目線で年代別及び価格別でクロス集計して特徴を分析し、分析結果を湯谷温泉発展会の旅館関係者等と共有のうえ意見交換を行った。

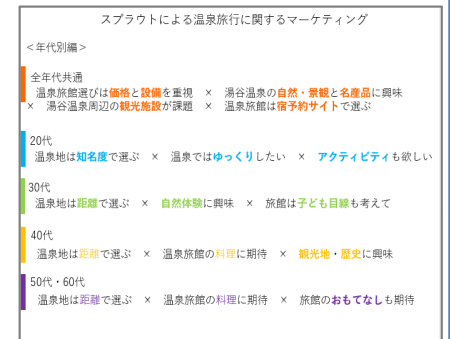
取組の成果と今後の展開



江南市幹部へのプレゼン資料

- PTの提案に対する江南市長からの意見
 - ・空き家や人口減少の問題の解決策についてよく取組んでくれた。
 - ・地域協働を謳う中で今後は民間や地域と共に進めていくことが大切だ。

- 温泉旅行に関するマーケティング資料について
 - ・年代別、価格別に特徴を分析したことにより、ターゲットに合わせた営業戦略を策定する際に参考となる資料を提供することが出来た。



温泉旅行に関する分析資料

今後も地域のニーズを把握しながら、地域に貢献できる活動を行えるよう努めていきたい。